

学校教育目標

自主的な子ども 思いやりのある子ども 健康な子ども

・一人一人が持続可能な社会の担い手となる ・よりより社会と幸福な人生の創り手となる 子供の育成

※学習指導要領より

- ・自己理解を深める
- ・自己肯定感を高める
- ・自身の向上を目指す
- ・様々な変化に積極的に向き合う
- ・自分を大切にす

- ・他者理解を深める
- ・多様性を認め、受け入れる
- ・共生・協働
- ・他者と協働しながら※
- ・良好な人間関係づくり

- ・誰もが安心して安全に過ごせる学校
- ・一人一人がのびのび過ごせる学校
- ・学校と社会との共有・連携協働※
- ・学校愛、地域愛、郷土愛を育む

重点目標スローガン（合言葉）

自分 友だち 宮崎 大好き たからもの

学び続ける学校

- 一人一人が学ぶ楽しさを実感し、主体的に取り組む授業の実現
 - ・研究テーマ「楽しいまなびや」に向けて、日々の授業を改善していく。
 - ・児童自身が学ぶ楽しさや喜びを感じられる授業づくりに励む。
 - ・わかる楽しさやできる喜びを実感させる授業を行い自己肯定感を高める。
- 個別最適な学習の実現、校内研究の充実と教員の指導力向上
 - ・基礎学力の定着を図り、子供たちが主体的に参加できる授業を行う。
 - ・基礎学力を活用させ、問題を発見し、見通しをもって解決していくような授業を行う
 - ・児童の命を守る教職員の意識を高め、児童一人一人が考えて行動できるよう避難訓練を行う。
 - ・生命、自然科学についての理解を深め、様々な場面を自分事として理解し、有事の際に自分がどのように行動するのか考える。
- 児童が主役の学校づくり
 - ・委員会活動や代表委員会を中心とした宮っ子朝会や学校行事への取組など児童主体の企画の推進を図る。
 - ・各学級での係活動や集会活動の推進を図る。
- GIGA スクール構想ステップ3への取組の推進
 - ・情報活用能力達成目標の作成とモラル教育計画について整備したことを着実に実施すべく、学校全体で取り組む。
- 教育活動の中でSDGsを意識した取組
 - ・教育活動や学校生活の様々な場面の中で、児童がSDGsの観点で生活を振り返られるような意識づけを行っていく。

支え合う学校

- 他者理解を深め、多様性を認め受け入れる児童の心の育成
 - ・教材研究や評価方法などを、学年を中心に検討・研修し合うことで、児童の資質・能力を育成することを目指す。
 - ・研究プロジェクトを中心として各学年の実践をまとめ、よりよい指導などを発信していく。
 - ・かわさき共生*共育プログラムや効果測定に計画的に取り組む。そして学級経営に活かしていく。
 - ・様々な年齢、状況、特性のある児童がいることを児童自身が理解し、自分と友達、それぞれの命を守る意識を高めていく。
- 一人一人が安心して過ごせる教室の環境づくり
 - ・1次支援の充実を図り、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた児童が安心できる環境づくりに努める。
 - ・自分も友達も大切にするという意識を、道徳やかわさき共生*共育プログラムをはじめ、全ての教育活動において行い、人権意識を高める。
 - ・通級からの巡回指導や学校巡回カウンセラーと適切に連携し、児童理解の充実を図る。
 - ・クラブ活動での異学年交流を推進する。
 - ・清掃交流、学校探検、自然教室交流会等、学年間での異学年交流に取り組む。
 - ・情報教育のルールと機器の整備を通して、個別最適化された教育の実現を目指す GIGA スクール構想の趣旨児童の学びを支える。
- 学校・家庭・地域が一丸となった児童の見守り、支援
 - ・情報に対する見識や情報を正しく使うという意識を高め、命を守るために平時、有事の際に正確な情報を得たり、発信したりする力を高める。

地域とともに歩む学校

- 地域とともにある学校づくりと、社会に開かれた教育課程の実現
 - ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会）を開催し、本校の教育活動についての理解を図るとともに、協体制を整える。
 - ・この地域だからできる学びを意図的に設定することで「自分 友だち 宮崎 大好き たからもの」を一人一人の児童が感じられるようにする。
 - ・クラブ活動や学習の中で地域の方との交流を深める。
 - ・市制100周年に向けて、学校生活や地域の人との交流を通して、この町のよさに気付く。
 - ・学校ホームページを活用し、学校の情報発信の強化及び地域に開かれた学校づくりに努める。
- 児童が安心して安全に過ごせる学校、地域
 - ・支援教育コーディネーターを中心に、児童・保護者が相談しやすい環境づくりに努める。
 - ・様々な問題には組織的に対応し、学校巡回カウンセラーやSSW等の相談機関との連携、教育相談の充実を図る。また、外部機関とも適切に連携していく。
 - ・「あいぼう」（挨拶と黄色い帽子）の合言葉を確認したり、公園での遊び方や登下校の歩き方等安全に関わる指導を継続したりしながら、児童の挨拶と安全に対する意識を継続させる。
 - ・日頃から地域との情報共有を密に行い、考えられる災害、事故等について共通理解を図るとともに、それを防ぐための最善の方法を考えておく。有事の際に、適切な対応ができるように備える。
 - ・子どもたちが地域の一員として防災に努める姿勢を醸成していく。

学年目標

- <1年> ともだちいっぱい やるきいっぱい
げんきいっぱい キラキラいちねんせい
- <2年> やってみよう きいてみよう
みんなでかがやけ 2年生

- <3年> つくりだせ3年生
- <4年> ハーモニー
～自分らしさとあたらしさを
大切にすなかまづくり～
- <5年> 正しく視る

- <6年> 魅 ～あきらめない6年
～自ら動く6年
～認め合う6年
- <あおぎり級> いっしょに やってみよう！
えがお あふれる あおぎりきゅう